

バングラデシュ：低開発の政治構造

佐藤 宏 編

アジア経済研究所



11237500

バングラデシュ：低開発の政治構造

佐藤 宏 編

アジア経済研究所

Bangladesh : 低開発の政治構造

さとう ひろし
佐藤 宏 (アジア経済研究所地域研究部)
しらい けい
白井 桂 (国際交流基金日本語国際センター)
おさだみつえ
長田満江 (アジア経済研究所動向分析部)
ふじたこういち
藤田幸一 (農業総合研究所海外部)

— 執筆順 —

Bangladesh : 低開発の政治構造 研究双書393

1990年3月30日発行©

編者 佐藤 宏

発行所 アジア経済研究所
東京都新宿区市谷本村町42 電話 東京(353)4231(代)

印刷所 コロニー印刷 東京都中野区江原町2-6-7

ISBN4-258-04393-1 C3033



100/835

Ja

323.3

A 11

研究双書No.393

佐藤 宏編『バングラデシュ：低開発の政治構造』

英文表題および目次

Title

Bangladesh: Teikaihatsu no Seijikouzou

Bangladesh: Political Dimensions of Underdevelopment

Editor

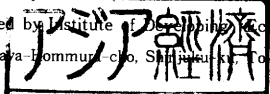
Hiroshi SATO

Contents

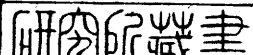
- Introduction. Power Structure in Bangladesh: Politics and Interests
in a Dependent Military-Bureaucratic State
(Hiroshi SATO)
- Chapter 1. Origins of Bangladesh Nationalism with Special
Reference to State Language Movement
(Kei SHIRAI)
- Chapter 2. Islam in Bangladesh Politics
(Hiroshi SATO)
- Chapter 3. Role of Military in Bangladesh Politics
(Mitsue OSADA)
- Chapter 4. Administrative Reforms since Liberation: From the
Abolition of CSP to the Civil-Military Conflict
(Hiroshi SATO)
- Chapter 5. Development of Irrigation and the Institutional Issues
(Koichi FUJITA)
- Appendix I List of Cabinet Ministers, April 1971-December 1988
- Appendix II Who's Who in Bangladesh Politics
(Hiroshi SATO)

[Kenkyu Soshu (IDE Research Series) No.393]

Published by Institute of Developing Economies, 1990
42 Ichigaya-Hommura-cho, Shinjyuku-ku, Tokyo 162, Japan



'90.7.17



目 次

はじめに

序章 バングラデシュの権力構造 ……………佐藤 宏…	3
—従属的軍・官僚国家における権力と権益—	
はじめに ……………	3
第1節 軍・官僚国家の政治指導層 ……………	4
1. 軍人政権の優位性 ……………	4
2. 政府党の社会基盤 ……………	10
第2節 独立後の開発と権益配分メカニズム ……………	15
1. 権益の源泉としての外国援助 ……………	15
2. 農村における権益配分メカニズム ……………	25
結 び ……………	33
第1章 バングラデシュ・ナショナリズムの源流 ……白井 桂…	41
—ベンガル語国語化運動を中心として—	
はじめに ……………	41
第1節 ベンガル語国語化運動の背景 ……………	43
第2節 第一次ベンガル語国語化運動 ……………	50
1. パキスタン構想とウルドゥー語国語化政策 ……………	50
2. ベンガル語国語化運動の組織化 ……………	52
3. 制憲議会での言語問題論争と3月11日事件 ……………	54
4. ジンナーの東パキスタン訪問 ……………	56
5. 州議会での言語問題をめぐる議論 ……………	58

第3節 第二次ベンガル語国語化運動	60
1. ベンガル語のアラビア文字表記化問題	60
2. 2月21日事件以前の政治的・社会的動向	62
3. ナジムッディン発言と2月21日事件	64
4. 州政府の対応	66
第4節 ベンガル語国語化運動の意義	68
1. その後の経緯	68
2. ベンガル語国語化運動についての一考察	71
おわりに	74
第2章 バングラデシュ政治とイスラム	佐藤 宏 ... 87
はじめに	87
第1節 バングラデシュの独立とイスラム	88
1. バングラデシュ独立闘争とイスラム政党	88
2. 非宗教主義と「反動」の兆し	91
第2節 ジアウル・ラフマン政権とイスラム	94
1. ジアウル・ラフマンの「宥和政策」	94
2. 国際関係の変化	95
第3節 エルシャド政権下の政治とイスラム	100
1. 軍とイスラム	101
2. 教育とイスラム	102
3. イスラム政党の簇生	106
第4節 イスラム国教化の論理と支持基盤	111
1. 憲法改正によるイスラム国教化	111
2. イスラム国教化の論理	113
3. イスラム国教化の支持勢力	116
第5節 「モスジッド中心社会」論	120
1. モスジッドへの補助金	122

2. イマーム訓練プログラム	128
3. 「モスジッド中心社会」論の現実	133
結 び	133
第3章 バングラデシュの政治と軍	長田 満江 139
はじめに	139
第1節 途上国における軍政の要因	140
1. 軍政の定義	140
2. 軍政をもたらす諸要因	141
第2節 ムジブル・ラフマン政権と軍	143
1. アワミ連盟の6項目要求運動	143
2. 独立戦争における軍の役割	147
3. 国軍の設立とロッキ・バヒニとの対立	149
4. 独裁化したムジブル・ラフマン政権	152
5. 1975年8月15日のクーデターとその背景	154
第3節 ジアウル・ラフマン政権下の政軍関係	156
1. 人民革命軍のクーデター	156
2. 軍内部の指導権争い	159
3. 民政移管とその後の政軍関係	162
4. 1981年5月30日クーデター未遂事件の背景	163
第4節 エルシャド政権下の政軍関係	165
1. 国軍の「声明」	165
2. エルシャド・クーデターの背景	167
3. エルシャド政権の政治姿勢	168
第5節 バングラデシュ民主化の条件	170

第4章 独立後の行政改革	佐藤 宏	181
—パキスタン文官職(CSP)の解体から		
軍・民官僚の軌轢へ—		
はじめに		181
第1節 CSP制度の解体		183
1. 独立と制度的混乱期—アワミ連盟の行政改革—		183
2. CSPの復権—ジアウル・ラフマン政権の行政改革—		188
第2節 軍の行政進出—エルシャド政権下の軍・民官僚関係—		196
付表 バングラデシュの中央行政機構		203
第5章 灌漑開発と制度的諸問題	藤田 幸一	209
はじめに		209
第1節 灌漑発展過程		210
1. 農業土地利用体系と灌漑		210
2. 灌漑発展の地域構造		220
第2節 灌漑政策の展開と水市場		232
1. 郡灌漑計画による灌漑普及制度の確立と問題		232
2. 1970年代末以降の政策転換		236
3. 農業構造と灌漑の採用		246
結 び		248
付録1	バングラデシュ歴代閣僚名簿1971.4～1988.12	259
付録2	バングラデシュ政治人名録	278